

保育所における自己点検・自己評価

須恵めぐみ保育園 氏名

「保育所保育指針」の第4章の 保育の計画及び経過に保育士等と保育所の自己評価が努力義務として示されています。規定通り「保育所は保育士の質の向上を図るため保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ当該保育園の保育の内容について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」そこで、須恵めぐみ保育園では、年1回の保育士等の自己評価を実施し、その結果を受け保育園の自己評価として年に1回実施、公表致します。

(保育理念)
子どもの自立を促し、一人一人の個性を尊重し、心豊かな人間性を養う

(保育目標)
1、決まりある子ども
2、情操豊かな子ども
3、物事を正しくとらえ、創造性を持つ子ども

A:よくできている B:わりとできている C:一部改善が必要 D:改善しなければならない
※CまたはDと記入した場合は「意見・改善策」を記入してください。

	内 容	評価	意見・改善策
保 育 の 目 標 に つ い て	(1) 保育士一人一人が須恵めぐみ保育園の保育理念、保育目標を理解している	A	
	(2) 子ども一人一人の主体性を大切にした保育をしている	A	
	(3) すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種・人権を尊重している	A	
保 育 に つ い て	(1) 保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の様子や興味を把握して、年間計画 月のカリキュラム、週案を立てている	A	
	(2) 3才未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に応じた保育計画を立てている	A	
	(3) 素材・用具を適切に活用している	B	
	(4) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	A	
	(5) 職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育 を行っている	A	
	(6) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい	A	
食 育 に つ い て	(1) 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	A	
	(2) 栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食に なるよう努めている	A	
	(3) アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り 適切な対応を行っている	A	

	内 容	評価	意見・改善策
役割 研修 修分構 担成	(1) 職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	A	
	(2) 危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	B	
	(3) 園内外の研修は計画を立て実行している	A	
保護者支援 情報	(1) 保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている	B	
	(2) 保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	A	
	(3) 様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	A	
	(4) パピーナ連絡帳や園だより、クラスだより、掲示板、SNS等を通して、保育内容や 子どもの姿を保護者へ情報発信ができている	A	
	(5) 子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	A	
	(6) 職員に、園内で知りえた事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	A	
	(7) 緊急時にはパピーナメールで保育園の状況を知らせ、適切な対応を行っている	A	
開 保か 育れ 園た	(1) 気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら 対応している	A	
	(2) 小学校と連携し、情報交換をする機会を持つ	A	

令和6年度 自己評価の意見➡（具体的改善対策）：

【保育目標について】

- ・皆、お互いの気持ちや大変さを理解しながら仕事が出来ている➡（皆で協力し合い、子ども達をより良くサポートできるような体制を保持する）

【保育について】

- ・月の個別計画は1ヶ月ぐらいではあまり変化がないので、2・3か月に1度の計画に変更して保育士の仕事内容を簡素化して欲しい➡（話し合いをし、検討してみる）
- ・職員間の「ホウレンソウ」をもっと徹底した方が良い、子どもに合った対応がスムーズにできるよう共通理解を深める➡（話し合いで必要な情報を引き出す）

【食育について】

- ・会議では互いに話し合いが密なので、より良い食事になっていると思う➡（引き続きよりよい話し合いが出来るよう努める）
- ・年長の食育の行事が一気にあり間隔が短いので分散して欲しい➡（可能かどうか調整する）

【職員構成・役割分担・研修】

- ・ヒヤリハットなど現場から発信する場を設けるとよい➡（発信し共有できる場を設ける）
- ・園外の研修にもっと行けるようになるとスキルアップにつながる➡（もっと時間が取れるようスケジュール調整する）

【保護者支援 情報】

- ・個人面談が全員あり、送迎時にはなかなか話せない保護者とも家庭や園での様子を共有出来てよかった➡（普段の子どもの様子や家庭での様子等知る機会が増えるので、引き続き続けていく）
 - ・安心・安全な保育がスムーズに行えるよう保護者との信頼関係を上手に築いていけるようにしていきたい➡（コミュニケーションを深める良い機会になり、保育向上にも繋がるので、引き続き心掛けていく）
 - ・居残りの連携等上手くできている➡（引き続き行っていく）
 - ・意思の疎通がうまく図れるよう、園の方針や対応の仕方を徹底して事前に保護者に伝えていき、コミュニケーションをもっと円滑に図れるようにする➡（園全体で迅速に対応していく）
- ### 【開かれた保育園】
- ・気になる子どもへの対応は、保育士、保護者、行政とうまく連携出来ている➡（引き続き良好な関係を築きながらスムーズに対応できるよう努めていく）
 - ・未熟児でも早い時期から専門的な保育を受けるのが望ましい➡（専門機関ともっと連携を取りながら、対応してもらえよう働きかける）

〔※自己評価のみまとめています〕